

令和7年度 1学年 理科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容(何を学ぶか) ●学習方法(どのように学ぶか)	評価規準		
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
4 5	1 いろいろな生物とその共通点 ①生物の観察と分類のしかた ②植物の分類 ③動物の分類	28	○生物の調べ方の基礎を身に付け、植物のからだのつくりを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。また、植物の分類とともに動物の分類について認識を深める。 ●身近な植物等についての観察や実験、考察を行い、レポート等にまとめる。	・身の回りの生物に対して、進んで関わり、科学的に探求しようとする。 ・花や葉、茎、根のつくりについて科学的な見方で進んで探求しようとしている。 ・種子をつくる植物の仲間と種子をつくらない植物の仲間などの分類を進んで行い、科学的に探求しようとする。 ・動物の分類について科学的な見方で進んで探求しようとしている。	・身の回りの生物について、目的意識をもって観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることなどについて自分の考えを表現している。 ・植物のからだのつくりの違いに基づいて、植物の分類ができること、種子植物と種子をつくらない植物との違いに関して自らの考えを表現できる。 ・動物の分類に基づいて、動物の身体のつくりや特徴に自らの考えを表現できる。 ・	・いろいろな生物が様々な場所で生活していること、その環境に応じて種類や生育状況に違いがあることを理解し、知識を身に付けている。 ・植物のからだのつくりの基本的な特徴、花、葉、茎、根のつくりを理解し、知識を身に付けている。 ・植物のからだのつくりの違いや共通点から植物を分類できることや、種子植物と種子をつくらない植物との違いなどについて理解し、知識を身に付けている。 ・動物のからだのつくりの違いや共通点から動物を分類できることや、セキツイ動物と無脊椎動物との違いなどについて理解し、知識を身に付けている。 ・実験の基本操作を習得するとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理の方法を身に付けている。
6 7 8 9	2 身のまわりの物質 ①身のまわりの物質とその性質 ②気体の性質 ③水溶液の性質 ④物質の姿と状態変化	26	○身のまわりの物質の調べ方の基礎を身に付け、物質の性質や変化について理解する。 ●身のまわりの物質についての観察や実験、考察を行い、レポート等にまとめる。	・身のまわりの物質とその性質、気体の発生と性質に関する事象に進んで関わり、それらを科学的に探求するとともに事象を日常生活との関わりで見ようとする。 ・物質の溶解、溶解度と再結晶に関する事象に進んで関わり、それらを科学的に探求するとともに事象を日常生活との関わりで見ようとする。 ・状態変化と熱、物質の融点と沸点に関する事象に進んで関わり、それらを科学的に探求するとともに事象を日常生活との関わりで見ようとする。	・身の回りの物質や気体の発生と性質に関する事象の中に問題を見いだし、観察・実験を通して物質固有の性質や気体の特性などについて自らの考えを導き、表現できる。 ・物質の溶解、溶解度と再結晶に関する事象の中に問題を見いだし、観察・実験を通して、粒子のモデルと関連付けた溶質の均一な分散、溶解度と再結晶との関連などについて自らの考えを導き、表現できる。 ・状態変化と熱、物質の融点と沸点に関する事象の中に問題を見いだし、観察・実験を通して粒子のモデルと関連付けた状態変化による体積の変化、融点や沸点を境にした物質の状態変化、分離などについて自らの考えを導き、表現できる。	・物質の固有の性質と共通の性質、気体の種類による特性などについて基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。 ・水溶液中では溶質が均一に分散していること、水溶液から溶質を取り出すことなどについて基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。 ・状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないこと、物質は融点や沸点を境に状態が変化すること、沸点の違いから物質を分離できることなどについて理解し、知識を身に付けている。 ・実験の基本操作を習得するとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理の方法を身に付けている。
10 11 12	3 身のまわりの現象 ①光の世界 ②音の世界 ③力の世界	26	○光や音の規則性や力の性質を理解し、日常生活と関連づけて科学的に見る見方や考え方を養う。 ●身の回りの現象についての観察や実験、考察を行い、レポート等にまとめる。	・光の反射・屈折、凸レンズの働き、音の性質に関する事物・事象に進んで関わり、それらを科学的に探求しようとするとともに、事象を日常生活との関わりで見ようとする。 ・力の働き、つまり合いに関する事物 ・事象に進んで関わり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活との関わりで見ようとする。	・光が反射・屈折をするときの規則性、凸レンズにおける物体の位置と像の位置や大きさとの関係、音の発生と伝わり方、音の高さや大きさと発音体の振動数の関係などについて自らの考えを導き、表現できる。 ・力の働き、つまり合いについての観察、実験を行い、力が働いた物体の形や運動の様子の変化、力のつまり合いについて自らの考えをまとめ、表現できる。	・光が反射・屈折をするときの規則性、凸レンズによる像の性質、音の発生と伝わり方、音の高さと大きさと発音体の振動数の関係などについて基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。 ・力が働いた物体の形や運動の様子の変化、力の矢印、力のつまり合いについて基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。 ・実験の基本操作を習得するとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理の方法を身に付けている。
1 2 3	4 大地の変化 ①火をふく大地 ②動き続ける大地 ③地層から大地の変化を読み取る	25	○地表に見られるさまざまなもの・現象を、大地の変化と関連付けて理解する。 ●岩石や地層、地形などの観察や分析、考察を行う。	・火山活動と火成岩、地震の伝わり方と地球内部の働きに関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活との関わりで見ようとする。 ・地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探求するとともに、災害に目を向け、自然環境の保全に寄与しようとする。	・火山活動と火成岩、地震の伝わり方と地球内部の働きに関する観察、実験を行い、火山の形とマグマの性質の関連、火山岩と深成岩の組織の違い、地震の波の大きさや伝わり方の規則性、地震の原因と地球内部の働きや地震と火山活動による災害などについて自らの考えをまとめ、表現できる。 ・地層の重なりと過去の様子に関する観察、実験を行い、地層の重なり方や広がり方についての規則性、地層とその中の化石から考えられる過去の環境と年代の推定などについて自らの考えをまとめ、表現できる。	・火山の形とマグマの性質の関連、火成岩と深成岩の組織の違いと成因との関連、地震の波の大きさや伝わり方に関する規則性、地震発生の原因と地球内部の働き、火山活動や地震で起こる災害などに関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 ・地層の重なり方や広がり方の規則性、地層とその化石を手がかりとして過去の環境と年代の推定できることについて基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 ・実験の基本操作を習得するとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理の方法を身に付けている。
	評価方法			・授業への取り組み ・観察、実験への取り組み ・実験レポート ・ワークシート	・定期考査 ・観察・実験の予想及び考察 ・実験レポート ・ワークシート	・定期考査 ・小テスト、実技テスト ・実験レポート ・ワークシート
	比率			1 : 1	1 : 1	1

令和7年度 2学年 理科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容(何を学ぶか) ●学習方法(どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
4	1.化学変化と原子・分子 ①物質のなり立ち ②物質どうしの化学変化 ③酸素がかかわる化学変化 ④化学変化と物質の質量 ⑤化学変化とその利用	29	○物質のなり立ち、化学変化と質量の関係を知り、日常生活との関わりを深める。 ●物質のなり立ち、化学変化と質量の関係について実験、考察を行い、レポート等にまとめたり、グループ学習、発表などを行う。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するため必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のなり立ち・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などをを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のなり立ち・化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5						
6						
7	2.動物の生活と生物の変遷 ①生物と細胞 ②植物のからだのつくりとはたらき	21	○生物と細胞、動物の体のつくり、生物の変遷と進化について学び、生命の成り立ちについて理解する。	生物と細胞、植物のからだとつくりのはたらき、動物のからだとつくりのはたらき、刺激と反応について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞、植物のからだとつくりのはたらき、動物のからだとつくりのはたらき、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などをを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞、植物のからだとつくりのはたらき、動物のからだとつくりのはたらき、刺激と反応に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究している。
9						
10	②動物のからだのつくりとはたらき ③刺激と反応					
11	3.天気とその変化 ①気象の観測 ②雲のでき方と前線	28	○毎日接している天気の変化、日本の気象の特色を学び、日常生活と関連づけて科学的に気象を見方や考え方を養う。	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の大気の特徴についての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測、天気の変化、日本の大気の特徴について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などをを行い、その結果を分析して解釈し、気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測、天気の変化、日本の大気の特徴に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12	③大気の動きと日本の天気					
1	4.電気の世界 ①静電気と放電 ②電流の性質 ③電流と磁界	32	○電流と電圧の関係、電流と磁界との関係について、実験観察を通してその現象を論理的に探求する。 ●実験とその考察から論理的に物事の現象を捉えるようにし、結果を整理しレポートにまとめたり、グループ学習、発表などを行う。	静電気と電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、電流と電圧の関係および電流の働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流と電圧の関係および電流の働きについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流と電圧の関係および電流の働きに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2						
3						
評価方法			・定期考查 ・小テスト・実験・実習 ・実験レポート・グラフ作成	・定期考查 ・実験の予想及び考察 ・実験レポート	・授業への取組 ・実験・実習への取組 ・課題等への取組 ・提出物の内容	
比率			1	1	1	

令和7年度 3学年 理科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容(何を学ぶか) ●学習方法(どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	1 化学変化とイオン ①水溶液とイオン ②酸、アルカリとイオン ③化学変化と電池	28	○化学変化とイオンの調べ方の基礎を身に付け、物質の性質や変化について理解する。 ●化学変化とイオンについての観察や実験、考察を行い、レポート等にまとめる。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するため必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7 8 9	2 生命の連續性 ①生物の成長と生殖 ②遺伝の規則性と遺伝子 ③生物の多様性と進化	26	○生命の連續性の調べ方の基礎を身に付け、物質の性質や変化について理解する。 ●生命の連續性についての観察や実験、考察を行い、レポート等にまとめる。	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
10 11 12	3 運動とエネルギー ①物体の運動 ②力のはたらき方 ③エネルギーと仕事	31	○運動とエネルギーについて理解し、日常生活と関連づけて科学的に見る見方や考え方を養う。 ●運動とエネルギーについての観察や実験、考察を行い、レポート等にまとめる。	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1 2	4 地球と宇宙 ①地球の運動と天体の動き ②月と金星の見え方 ③宇宙の広がり	26	○地球と宇宙に見られるさまざまな事物・現象を、大地の変化と関連付けて理解する。 ●地球と宇宙について観察や分析、考察を行う。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
3	5 地球と私たちの未来のために ①自然のなかの生物 ②地域とつながる ③科学技術と人間 ④持続可能な社会のために	26	○自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ●自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などの観察や分析、考察を行う。	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物が増加すると草食動物や肉食動物が時間を追うごとにその数がどのように増減するかを考察することができる。微生物のはたらきの実験結果から、分解者の役割を考察し、判断することができる。	生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法			・定期考査 ・小テスト、実技テスト ・実験レポート ・ワークシート	・定期考査 ・観察・実験の予想及び考察 ・実験レポート ・ワークシート	・授業への取り組み ・観察、実験への取り組み ・実験レポート ・ワークシート
	比率			1	: 1	: 1